

令和 6 年 度

埋蔵文化財調査士補 資 格 試 験

【 I 】 択 一 式 問 題 ・ 答 案 用 紙

受験番号	氏 名

試験日：令和 6 年 8 月 2 4 日（土）

会 場：「連合会館」東京・御茶ノ水

公益社団法人 日本文化財保護協会

問 1 埋蔵文化財調査士 資格制度に関する説明で、間違っているものはどれか。

- A. 埋蔵文化財調査士資格制度は、埋蔵文化財調査に携わる方が、必要な知識や技能の向上を図り、もって埋蔵文化財調査の円滑化を促進することで、我が国の文化財保護に寄与することを目的に設立されている。
- B. 埋蔵文化財調査士補資格者は、発掘・整理に必要とされる「考古学関連知識や技術」だけでなく「関係法令」、「安全衛生」や「情報処理」に関し必要な知識を求められる。
- C. 埋蔵文化財調査士資格者は、発掘調査現場を統括し、工程管理までを適切に実施することが求められる。
- D. 埋蔵文化財調査士資格制度は、受験資格に一定の経験年数を要求しているが、これは発掘調査現場における運営・管理などの実務知識をある程度身に付けておくことが重要とする制度の趣旨によるものである。

問 1	C
-----	---

問 2 埋蔵文化財調査士 資格制度の継続教育（C P D）制度に関する説明で、正しいものはどれか。

- A. 埋蔵文化財調査士 資格制度合格者は、埋蔵文化財に関する知識、能力を維持することが求められるが、その方法や程度などは本人の自主的な計画に委ねられ、とくに制限等は設けられていない。
- B. 所属する会社の社内研修や業務上の研究や発表は、埋蔵文化財調査に関係するものであっても、C P Dポイント認可の対象として申請することはできない。
- C. C P D制度により、溜まったポイントのうち資格更新手続きに使用した残りのポイントは、5年後の次回資格更新時に使用することが出来る。
- D. 資格の登録更新に必要なC P Dポイントは、埋蔵文化財調査士、埋蔵文化財調査士補ともに、C P Dポイント配分表に定める100ポイントとなっている。

問 2	B
-----	---

問 3 次の記述で、正しいものはどれか。

- A. 採用により事業場の労働者数が安全管理者を選任しなければならない人数になったので、一か月後に選任した。
- B. 製造業を営む当社は、常時使用する労働者が58人以上になったので、ただちに安全管理者・衛生管理者・産業医を選任し、労働基準監督署長に届け出た。
- C. 常時使用する労働者は60人なので、まだ衛生管理者を選任する必要はない。
- D. 常時使用する労働者は60人なので、まだ産業医を選任する必要はない。

問 3	B
-----	---

問 4 労働安全衛生法に関する次の記述で、正しいものはどれか。

- A. 事業者が労働者の危険の防止に関する事項等を労使で審議するため、安全委員会の設置は義務付けられているが、労働者の健康障害防止に関する事項は労働者の意識による度合いが高いので、衛生委員会の設置は努力義務である。
- B. 労働安全衛生法では事業者の講ずべき措置等が20条から25条の2に規定されている。
- C. 労働安全衛生法では一定の作業に従事する場合、技能講習修了証・特別教育が必要であるとされている。
- D. 労働安全衛生法では一定の化学物質の危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）は、事業者の努力義務とされている。

問 4	B
-----	---

問 5 危険性又は有害性の調査等（リスクアセスメント）で、間違っているものはどれか。

- A. 作業前の段階でリスクを抽出し、重大性、発生可能性の評価結果から重大なリスクに対して適切な対策を実施していく手法である。
- B. 安衛法では、28条の2で一般的な作業・設備のリスクアセスメント等について、57条の3で化学物質のリスクアセスメント等について努力義務が課されている。
- C. リスク低減措置の優先順位は4段階あり、計画段階で措置できるのがよい。
- D. リスクアセスメント等の実施後においても、残留リスクは発生するものである。

問 5	B
-----	---

問 6 労働安全衛生法、労働安全衛生規則に関する記述で、正しいものはどれか。

- A. 新規に雇入れた労働者は雇用期間が半年のパート労働者だったので雇入れ時の安全教育を実施しなくてもよい。
- B. 新規に雇入れた労働者は雇用期間が半年のパート労働者だったので雇入れ時の健康診断を実施しなくてもよい。
- C. 事業場で業務災害が発生したが、病院で湿布薬を貼る程度であり、本人が健康保険で支払った。当該金額とお見舞金を渡して双方納得しているので特に問題はない。
- D. 労災隠しに問われるのは労働者死傷病報告を出さない場合に限られる。

問 6	B
-----	---

問 7 熱中症に関する次の記述で、正しいものはどれか。

- A. 熱中症対策には、水分補給をしていれば十分である。
- B. 熱中症は炎天下における屋外作業だけに発生する災害である。
- C. 熱中症では、最悪死亡する危険性もある。
- D. 熱中症対策は、気温と湿度の管理が重要である。

問 7	C
-----	---

問 8 埋蔵文化財保護法が定義されているのは第何条か。

- A. 第2条
- B. 第92条
- C. 第93条
- D. 第99条

問 8	B
-----	---

問 9 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲で無い所で遺跡を発見した場合は、発見後何日以内に届出なければならないか。

- A. 30日
- B. 規定は無い
- C. 60日
- D. 遅滞なく

問 9	D
-----	---

問10 発掘調査終了後、出土品について提出する届出の正しい組み合わせはどれか。

- A. 埋蔵物預かり書・埋蔵文化財活用計画書
- B. 埋蔵文化財内訳書・埋蔵物保管書
- C. 埋蔵物発見届出・埋蔵文化財保管書
- D. 埋蔵文化財発見届出・埋蔵物保管書

問10	C
-----	---

問11 「適正な埋蔵文化財行政を担う体制等の構築について（報告）」（平成26年）で、民間調査組織による調査の常態化等により生じた問題として指摘されていないのはどれか。

- A. 民間調査組織の利用による地方公共団体専門職員の削減等の影響
- B. 地方公共団体専門職員の埋蔵文化財の知識・技術に関する専門性の弱体化
- C. 民間調査組織による記録保存調査における質の問題
- D. 民間調査組織の調査に対する常駐的な監理（最低1日1回は必要）の必要性

問11	C
-----	---

問12 10年通知「埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について」において埋蔵文化財の対象として扱う範囲としたのはどれか。

- A. 過去の人類の足跡は全て対象
- B. 地域の文化財担当者が必要と認めた時代の遺跡まで
- C. 原則おおむね中世までに属する遺跡まで
- D. 地域住民が要請する時代の遺跡まで

問12	C
-----	---

問13 発掘調査において締結する「三者協定」の標準的な組み合わせはどれか。

- A. 当該文化財保護部局・開発事業者・発掘調査組織
- B. 開発事業者・土地所有者・当該文化財保護部局
- C. 発掘調査組織・学識経験者・開発事業者
- D. 開発事業者・土地所有者・発掘調査組織

問13	A
-----	---

問14 発掘調査について正しいものはどれか。

- A. 発掘調査はほとんど学術調査である。
- B. 発掘調査をすれば報告書など出版する必要はない。
- C. 発掘調査自体も遺跡の破壊の側面をもっている。
- D. 発掘調査をすれば完璧に遺跡に情報がすべて得られる。

問14	C
-----	---

問15 遺跡の溝が重なって発見された場合、溝を掘る順序で正しいものはどれか。

- A. 溝は新しいものから掘る。
- B. 溝は古いものから掘る。
- C. 溝は新旧関係なく、どこからでも掘れば良い。
- D. 溝は覆土の粒子が細かいのから掘る。

問15	A
-----	---

問16 次の土器型式のうち、縄文時代早期に関東地方で出土する型式で正しいのはどれか。

- A. 大木9・10式土器
- B. 花積下層式土器
- C. 加曾利B式土器
- D. 田戸下層式土器

問16	D
-----	---

問17 縄文時代の竪穴建物の形態でまちがっているものはどれか。

- A. 円形のプランの住居跡が有る。
- B. 敷石住居跡や柄鏡形の住居跡が有る。
- C. 楕円形プランの住居跡が有る。
- D. 隅丸方形のプランの住居跡はほとんどない。

問17	D
-----	---

問18 以前より縄文時代に農耕が起こっていたとする縄文農耕論があるが、それとは異なる弥生時代の農耕を特徴づける要素は何か。

- A. 陸稲栽培
- B. 小区画水田
- C. 灌漑農耕
- D. 品種改良

問18	C
-----	---

問19 低地遺跡において水田遺構が発見されなくても、水田の存在を裏付ける手掛かりとなる分析方法はどれか。

- A. 窒素同位体分析
- B. 放射性炭素年代測定
- C. プラントオパール分析
- D. 蛍光X線分析

問19	C
-----	---

- 問20 著書『山陵誌』のなかでその墳形を宮車に見立て、前方後円墳の名称の由来となった説を唱えた江戸時代後期の儒学者は誰か。
- A. 蒲生君平
 - B. 木内石亭
 - C. 新井白石
 - D. 徳川光圀

問20	A
-----	---

- 問21 定型化した前期古墳の政治的序列を「前方後円墳体制」として提唱した研究者は誰か。
- A. 小林行雄
 - B. 都出比呂志
 - C. 石野博信
 - D. 近藤義郎

問21	B
-----	---

- 問22 吉野ケ里遺跡の石棺墓（弥生時代後期）、桜井茶臼山古墳（3世紀末）、富雄丸山古墳（4世紀末）、藤ノ木古墳（6世紀末）など、弥生時代から古墳時代各期の埋葬において、その被葬者が有力者であったことを示す根拠となる共通の要素はどれか。
- A. 三角縁神獣鏡
 - B. 装飾大刀
 - C. 水銀朱
 - D. 装身具

問22	B
-----	---

- 問23 唐の都城制に倣って建設され、条坊が配された街区をもつわが国初めての都市はどれか。
- A. 平安京
 - B. 平城京
 - C. 藤原京
 - D. 長岡京

問23	C
-----	---

- 問24 飛鳥地域の発掘調査で発見され、総柱の楼閣状建物跡や木樋や銅管などが配されていることから『日本書紀』に記載される中大兄皇子が建設した漏刻施設（水時計）に比定された遺跡はどれか。
- A. 甘樫丘東麓遺跡
 - B. 飛鳥水落遺跡
 - C. 嶋宮遺跡
 - D. 雷丘東方遺跡

問24	B
-----	---

問25 律令国家が地方支配の施策として建設した駅路は、その重要性によって大路・中路・小路というランクがあるが、唯一の大路に位置付けられ発掘調査によって瓦葺きの駅家が確認されているのは七道のうちどれか。

- A. 山陽道 B. 西海道
C. 東海道 D. 東山道

問25	A
-----	---

問26 次の4つの文章は、浜田耕作の『通論考古学』の引用または要約である。このうち、中世、近世、近現代の考古学の発展・推進に対してネガティブな方向性を与えた可能性がある内容について、正しい組み合わせはどれか。

- (あ)「考古学は過去人類の物質的遺物により人類の過去を研究するの学なり。」
(い)「考古学者がもっぱら活動すべき舞台は、人類の物質的な遺物があるが、文献が全く備わらない時代から、文献があっても未だ豊富ではない、特に同時代の文書が欠乏している時代にあり」
(う)「我が国においては推古朝より奈良時代に至って、初めて文書記録の存在が出る、といっても、未だ豊富とはいえない。それ以前は、わずかに記紀に伝わる伝説的な歴史と中国の史書に散見される記事の示すもののみが存在するだけである。平安以後になると、同時代の文書記録が多く存在するものであり、歴史家の手によって、我が国民の過去を研究するには不便である。しかも、文化芸術方面にいたっては、さらに後代にいたっても文献的資料を欠乏する。されど、まず奈良時代以前は、考古学の太い活動すべき時代というものも不可ではない。」
(え)「考古学は人類の過去一切を研究する学問である」

- A. (あ)と(い) B. (あ)と(う)
C. (い)と(う) D. (う)と(え)

問26	C
-----	---

問27 「明治5（1872）年にわが国初の鉄道が開業した際に、海上に線路を敷設するために築かれた鉄道構造物です。平成31（2019）年4月、品川駅改良工事の際に石垣の一部が発見されました。」（港区教育委員会ホームページより）とされ、今後の近現代の考古学の取り扱いに大きな影響を及ぼすことが予測される東京の遺跡は、どれか。

- A. 東京都港区・高輪築堤跡 B. 東京都千代田区・三番町遺跡
C. 東京都新宿区・落合遺跡 D. 東京都港区・汐留遺跡

問27	A
-----	---

問28 例えば、近世の都市遺跡の発掘調査における、文献調査との関係として間違っているものはどれか。

- A. 土地の来歴（土地所有者など）については、調査の予見にも関わり、事前にリサーチするのが望ましい。
B. 文献調査は、発掘調査が終了して考察原稿を執筆する時には必要になってくる。
C. 火災の記録などがわかれば、焼土層や、被熱した資料の時期決定に大いに貢献できる。
D. 文献史料に記録がなければ、遺跡から焼土層などがみつかるはずがない。

問28	B
-----	---

問29 この画像は江戸城外堀跡に関する発掘調査画像（丸の内一丁目遺跡）であるが、「矢羽根」と「○に山」であらわされる刻印の築石の間にある赤枠内の木は何の役割を持ったものか。



- A. 土台木である
- B. 丁場境を表す
- C. 上の石を支えている
- D. 築石をささえる木である

問29	B
-----	---

問30 江戸時代の遺物として比較的残りやすく、一般的に良く発見されている材質（等）の組み合わせを示すものはどれか。

- A. 石製品、土器、陶磁器、瓦
- B. 漆製品、木製品
- C. 金属製品、ガラス製品
- D. 植物などの自然遺物

問30	A
-----	---

- 問31 この画像は、漆や金属関係の生産遺物であるが、このような遺物が出土した場合の遺跡の理解として正しいものはどれか。



- A. こうした資料が出土する地点は、そこは必ず工房で、職人の居住した場所である。
- B. 職人がいた場所を知るには町名が大いに参考になり、このような遺物が出ていたとしても、町名とずれていれば、そこは職人の工房や居住域とはいえない。
- C. このような資料は、大名屋敷などでも出土する場合がある。また、ごみすての場に捨てられることもあるので、必ずしもその地点が職人工房そのものであることを意味しない。しかしながら、付近に居住したこと、地点に関連することは十分に考えられる。
- D. このような遺物が出土するのであれば、その地点に木地師や鋳物師がいたことになる。

問31

C

- 問32 近世の遺跡において出土する陶磁器については、おおむね以下のような構造をもっている。あてはまる言葉の組み合わせとして正しいものはどれか。

戦国期までは、磁器は(あ)が使われていた。近世の陶磁器の中でも、(い)は全国的なシェアを獲得したことが知られている。このため、(い)の碗・皿などについて学習しておくことは全国で近世遺跡を調査する場合に、非常に有用である。この(い)の「くらわんか手」などは良く知られている。

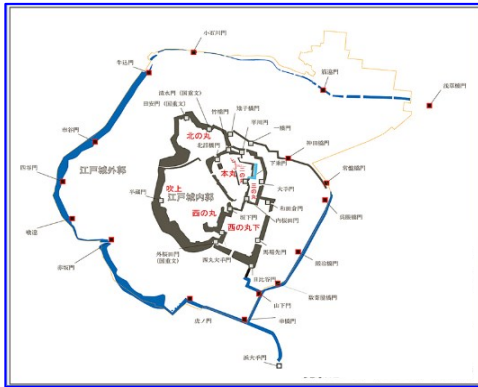
19世紀に入ると、(う)でも磁器が生産されるようになる。国内の磁器市場に入っていくために導入したのは、清朝磁器の写しであった。

- A. (あ) : 肥前磁器、(い) : 中国磁器、(う) : 瀬戸美濃
- B. (あ) : 瀬戸美濃、(い) : 中国磁器、(う) : 肥前磁器
- C. (あ) : 中国磁器、(い) : 飯能焼、(う) : 瀬戸美濃
- D. (あ) : 中国磁器、(い) : 肥前磁器、(う) : 瀬戸美濃

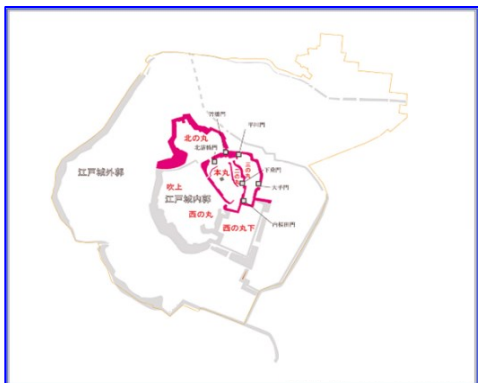
問32

D

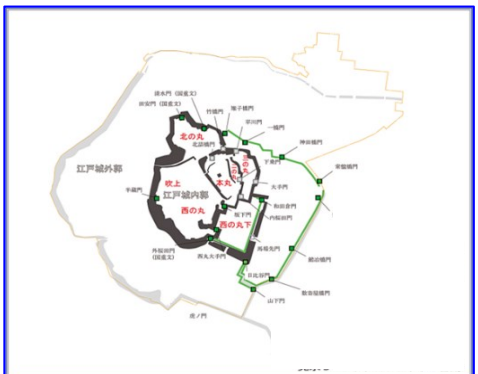
問33 江戸城に関する以下の4枚の図について、年代の古い状態からの順として正しいものはどれか。



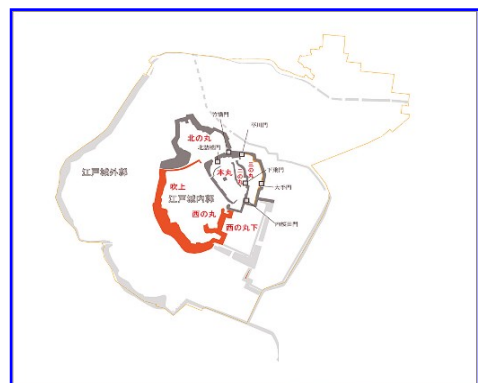
(あ)



(い)



(う)



(え)

- A. (あ) ➡ (い) ➡ (う) ➡ (え)
 B. (い) ➡ (え) ➡ (う) ➡ (あ)
 C. (あ) ➡ (う) ➡ (い) ➡ (え)
 D. (あ) ➡ (う) ➡ (え) ➡ (い)

問34 埋蔵文化財発掘調査における発掘調査報告書の意義について間違っているものはどれか。

- A. 考古学的な関心にもとづく学術的な研究成果のみを掲載する。
- B. 想像を排して発掘調査と整理作業を通じて明らかになった事実にもとづき記述する。
- C. 現地において保存することができなかった遺跡の状態を記録にとどめ残す。
- D. 発掘調査によって得られた記録と、整理作業の結果を統合する。

問34	A
-----	---

問35 点的記録と面的記録について正しいものはどれか。

- A. 点的記録は計測のコストが低く、簡便な手段で行なえることが利点である。
- B. 3D写真計測は面的記録であるがレーザースキャナーは点的記録である。
- C. トータルステーションは三次元で位置座標を記録するので面的記録である。
- D. スマートフォンなどによるモバイルスキャンは精度が著しく低いので埋蔵文化財発掘調査には利用すべきではない。

問35	A
-----	---

問36 発掘調査記録の原データと報告書の関係について正しいものはどれか。

- A. 発掘調査報告書には、調査時に得られた原データだけを収録し、分析結果などは掲載しない。
- B. 原データを取捨選択、分析し、必要な情報を抽出したものを報告書に掲載する。
- C. 原データを掲載するならば、表や図を作成する必要はない。
- D. 原データは複雑なので共有する必要はない。

問36	B
-----	---

問37 専用ソフトでなくても読み取りや編集が可能なファイル形式を何と呼ぶか。

- A. オープンアクセス
- B. オープンオフィス
- C. オープンサイエンス
- D. オープンフォーマット

問37	D
-----	---

問38 発掘調査成果の普及・公開について正しいものはどれか。

- A. 発掘調査報告書は高度な内容なので専門家だけが閲覧・利用できれば良い。
- B. 一般書の出版や博物館の展示は発掘調査報告書の内容よりも一般の理解を重視するべきである。
- C. 埋蔵文化財保護行政の成果である発掘調査報告書も行政オープンデータのひとつと考えるべきである。
- D. 発掘調査報告書は図や写真の品質が重要なので電子化してオンライン公開する必要はない。

問38	C
-----	---

問39 遺跡探査について間違っているものはどれか。

- A. 遺跡の物理探査は、ノイズの発生を抑えるため、発掘調査中や発掘調査後に実施するよりも発掘調査前に実施することが好ましい。
- B. 遺跡探査を実施すれば地中の構造を詳細調べることができるから、発掘調査は必要ない。
- C. 航空レーザー測量によって取得したデータの公開と活用が進んでいる。これらの航空レーザー測量データは遺跡の地形情報の取得に役立てることができる。
- D. 地中レーダー探査は、地中にレーダー波を流し、地中に存在する物体によって起きる反射波を受信することによって地中の様子を推定する手法である。

問39

B

問40 発掘調査における記録手法について正しいものはどれか。

- A. SfM-MVSを利用した記録では、適切な画像群を得るとともに、調査現場で撮影直後に仮の解析を実施し、写真に不足が無い、構築したモデルに問題が無いを確認する必要がある。
- B. 無人航空機はこれまでと比較して空中写真を簡便に得られる手法だから、今の調査現場は住宅密集地にあるが、必要とあればすぐに飛行させたほうがよい。
- C. 近年登場したiPhone内蔵のLiDARは簡便に計測できるので、今後の文化財の詳細な記録に最も適している。
- D. GNSSを用いた位置情報の記録は、場所を選ばず水平誤差数cm程度の精度の高い計測が可能なので、この方法できるだけ選択したほうが良い。

問40

A

問41 発掘調査報告書の作成について、間違っているものはどれか。

- A. 遺構の検討や遺物の検討を総合的に検討して遺跡の情報を整理し、考古学だけでなく、文献史料の適切な利用のほか、民俗学的視点からの検討など様々な視点から総合的に遺跡を評価する。
- B. 遺跡の発掘調査情報は、埋蔵文化財保護や歴史研究などに資するだけではない。過去の災害の痕跡の有無も詳細に記録することから、将来の地震や洪水など自然災害への備えにも貢献する可能性がある。したがって、発掘調査報告書の作成にあたっては、歴史学や考古学の専門家だけでなく幅広い層の人々が活用できるようにする必要がある。
- C. 発掘調査報告書は刊行することが目的なので、全体を通して不明瞭な点や不整合な点を確認しても、逐一発掘記録類や実資料にあたるなど確認作業は必要ない。
- D. 発掘調査報告書のデジタルデータは、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が運営する全国遺跡報告総覧に登録することができる。

問41

C

問42 発掘現場での出土木製品取扱法の説明として間違っているものはどれか。

- A. 濡れた状態では接合できない木製品の破片であっても保存処理後に接合可能になることがあるので将来必要になりそうなものは乾燥させないよう養生しておく。
- B. 水漬け状態で掘り出された出土木製品は無処理で乾燥させると原形をとどめないほど収縮することがある。その程度は一般的に針葉樹材より広葉樹材の方が著しい。
- C. 立った状態で出土した柱根等の木製品の加工痕は上端部に集中的に残存しているので上端部を乾燥させないように水をかけたり保護材を巻いたりして養生する。
- D. 現場で木製品を充分養生することは困難なので差し支えない限り速やかに取り上げて、水漬けにするなどの処置をすべきである。

問42

C

問43 出土遺物の理化学的分析についての説明として間違っているものはどれか。

- A. 試料採取が必要な分析では、遺物の損傷を必要最小限度にとどめるよう心がけるべきである。
- B. 金属製品の非破壊的分析に当たっては分析方法・分析箇所等の条件によって結果が左右されることを考慮してデータの妥当性を判断すべきである。
- C. DNA分析や放射性炭素同位体年代測定等では現代由来の人為的汚染がないように出土直後から遺物の保管に注意が必要である。
- D. 分析によって得られたデータは分析実務の直接担当者が論文化して公表するまで発掘担当者は報告書に使用できないことが一般的ルールになっている。

問43

D

問44 発掘現場での中程度のサイズの遺物（縦80×横50×高さ25cm前後と仮定する）の固定から取り上げまでについての説明として間違っているものはどれか。

- A. 発泡硬質ウレタン樹脂は充分発泡すると極めて低密度になるので固定した遺物の取り上げ時や運搬時の重量を考慮する必要がなくなる利点がある。
- B. 固定して取り上げた遺物は屋内作業のできる環境に移し、長期間放置することなく保存処理工程に進むことが望ましい。
- C. 石膏は発泡硬質ウレタン樹脂に比べ入手しやすく、使い慣れた材料であるが、取り上げに使用する場合は重量と強度の点で無理のないよう前もって作業計画を立てておく必要がある。
- D. 固定する前の準備として取り上げたい遺物の表面を紙・ラップ・砂等で養生しておくことが重要である。

問44

A

問45 出土木製品の仮保管（発掘現場での取り上げから本格的な整理作業や保存処理までの期間、現場事務所等で管理すること）の注意点として間違っているものはどれか。

- A. 水中保管時に防腐剤を使用する場合は使用薬剤の人体への悪影響に配慮し安全管理に注意する。
- B. 出土木製品は多くの場合、大量の水を含んだ「水漬け」状態にあり、乾燥させると数分の一以下の重さになってしまうことがある。
- C. 木製品のビニールパック保存では厚手の塩化ビニールを用い、なるべく大量の水を入れてシールする。
- D. 木製品の水中保管時にガーゼやタオルを巻いておくのは短期間にとどめるべきである。

問45

C

問46 環境変化を示す記述で、間違っているものはどれか。

- A. 約125,000年前頃は、氷河期の中でも暖かい時期で、沿岸部の平野は海進を受けて浅い湾であった。
- B. 最終氷期最盛期は、現在よりも100m以上(120～135m?)海水準が低かった。
- C. 約12,000年前の縄文時代草創期の終わり頃になると、一時的に小氷期をむかえた。
- D. 約7,000年前頃の縄文海進最盛期は、海水準が現在より数m低かった。

問46

D

問47 環境変動と地形の関係について正しいものはどれか。

- A. 氷期では雪が融けずに陸地に氷床ができ、海水面が上昇する。
- B. 間氷期では温暖化に伴い海水面が上昇し、谷内に軟弱な泥層が堆積して埋没谷が形成される。
- C. 最終氷期最盛期頃になると、台地上では黒ボク土が形成される。
- D. 約7,000年前頃の海水準は現在よりも100m程度低かった。

問47	B
-----	---

問48 放射性炭素年代測定の原理で間違っているものはどれか。

- A. 放射性炭素年代測定法は、遺体に含まれる ^{14}C の濃度を測定することで年代を求める方法である。
- B. 二酸化炭素中の炭素では、炭素の同位体である ^{12}C 、 ^{13}C 、 ^{14}C はそれぞれほぼ同量含まれる。
- C. 宇宙線によって ^{14}N から生成される ^{14}C への変化は過去から現在を通してほぼ一定とされている。
- D. ^{14}C の濃度は約5,700年後に1/2に減少する性質がある。

問48	B
-----	---

問49 微化石の特徴で正しいものはどれか。

- A. 遺跡から出土する植物遺体は、一般的に台地上など乾いた場所に残りやすい。
- B. 植物は、種・部位によって、また生産量や脆弱性により、化石化する程度が異なる。
- C. 植物は、どのような部位も全く分解することなく、そのままの状態です中に残存して化石となる。
- D. 花粉化石は、礫質の堆積物でも多量に残存している。

問49	B
-----	---

問50 土壌試料の採取や管理方法について間違っているものはどれか。

- A. 水平に堆積した地点で水平にサンプリングする方法では、連続して定量的に検討が可能である。
- B. 斜面に堆積した地点で層位に沿ってサンプリングする方法では、層位の厚さにより分析量が異なる。
- C. 低湿地の土壌は乾燥させると固まり、木材や種実の組織が壊れるため同定が困難となる。
- D. 採取した試料は、何も記録せずに封を開けた状態で管理する。

問50	D
-----	---